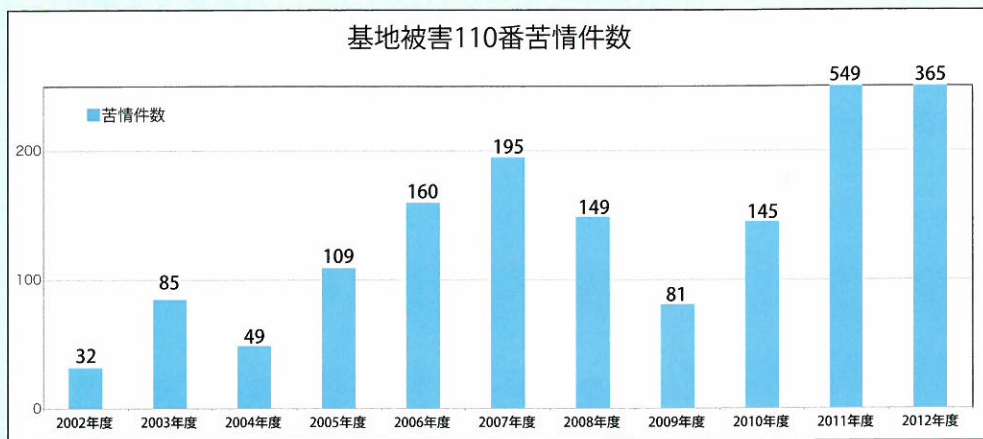


基地から派生する被害

基地被害110番

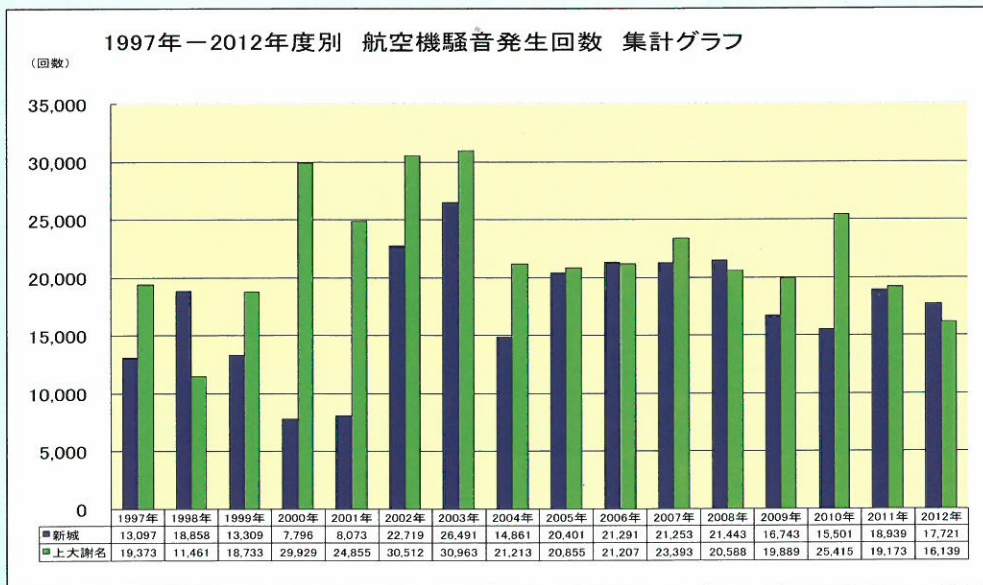
・2012年度の苦情件数は、365件！！



基地被害110番に寄せられる苦情は年々深刻化しており、悲鳴に近い声も多く寄せられております。主な内容は、墜落の不安、騒音被害、夜間航空機騒音による不眠などで、苦情からは日米合意事項に違反した運用の実態が浮かび上がってきます。

騒音被害

・新城区では一日平均、約50回もの騒音が！！

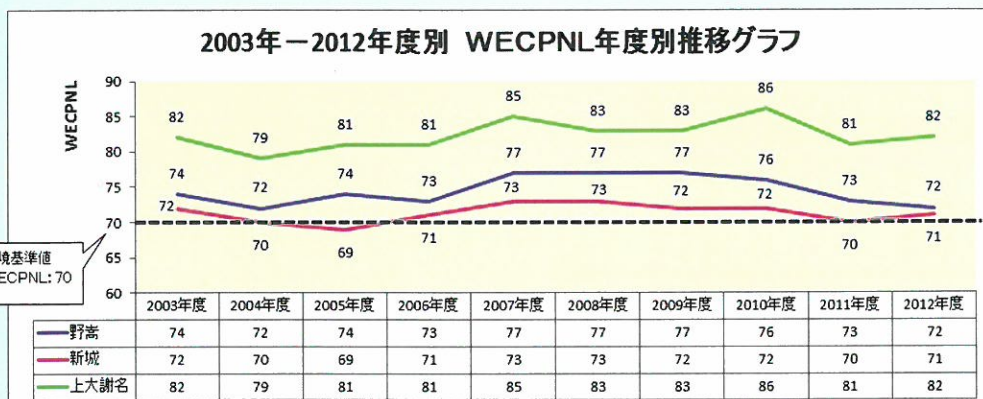


普天間飛行場周辺では日常的に航空機騒音にさらされた生活を余儀なくされています。

また、正月三が日や入学式など、本来、静かに過ごされるべき日にも米軍機の頻繁な飛行が確認されており、住民生活に大きな支障を及ぼしております。

日米両政府は普天間飛行場の早期返還と並行し、目に見える負担軽減を早急に実施すべきであります。

・上大謝名区における環境基準超過日数
→200日以上！！



本市においては、「生活環境を保全し、人の健康の保護に資するうえで維持することが望ましい」とされている環境基準値を超過する騒音が常態化しております。特に、市南側の上大謝名区では毎年環境基準値を大幅に上回る騒音が測定されており、年間200日以上もの日数が環境基準を超過しております。